

三菱鉛筆株式会社

2024年 12月期 第2四半期 決算補足説明資料

2024年7月30日



2024年12月期 第2四半期 連結決算 概略

- ◆ 売上高は海外市場での堅調さに加え、円安による押し上げ影響もあり、前年同期比17.1%の増加
- ◆ 売上総利益は原材料やエネルギーコストの高騰は続いたものの、売上高伸長による販売差益の増加で19.3%の伸び
- ◆ 営業利益は3月に計上したLamy社持分取得に関連する費用733百万円の影響で7.2%減となったが、その影響を除いた場合、営業利益は6.0%増、経常利益は9.6%増となる

【連結】 単位:百万円	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	前年比	
	Q2	Q2	Q2	Q2	Q2	増減額	増減率
売上高	26,982	30,619	33,881	36,240	42,434	6,193	17.1%
(USD平均レート)	¥108.41	¥107.76	¥123.17	¥135.99	¥152.30	¥16.31	-
売上総利益	13,686	15,361	16,535	18,206	21,726	3,519	19.3%
(売上総利益率)	50.7%	50.2%	48.8%	50.2%	51.2%	1.0%	-
販管費	11,127	11,240	11,862	12,548	16,474	3,926	31.3%
営業利益	2,559	4,121	4,672	5,658	5,251	▲ 406	▲ 7.2%
経常利益	2,761	4,691	5,570	6,538	6,419	▲ 118	▲ 1.8%
当期純利益※	1,743	3,234	3,908	4,436	6,671	2,234	50.4%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

連結業績推移 売上高

◆ 2024年Q2の売上高は、Lamy社の取込による上乗せ分を除いても過去最高売上高を記録した2023年を上回る

(百万円)

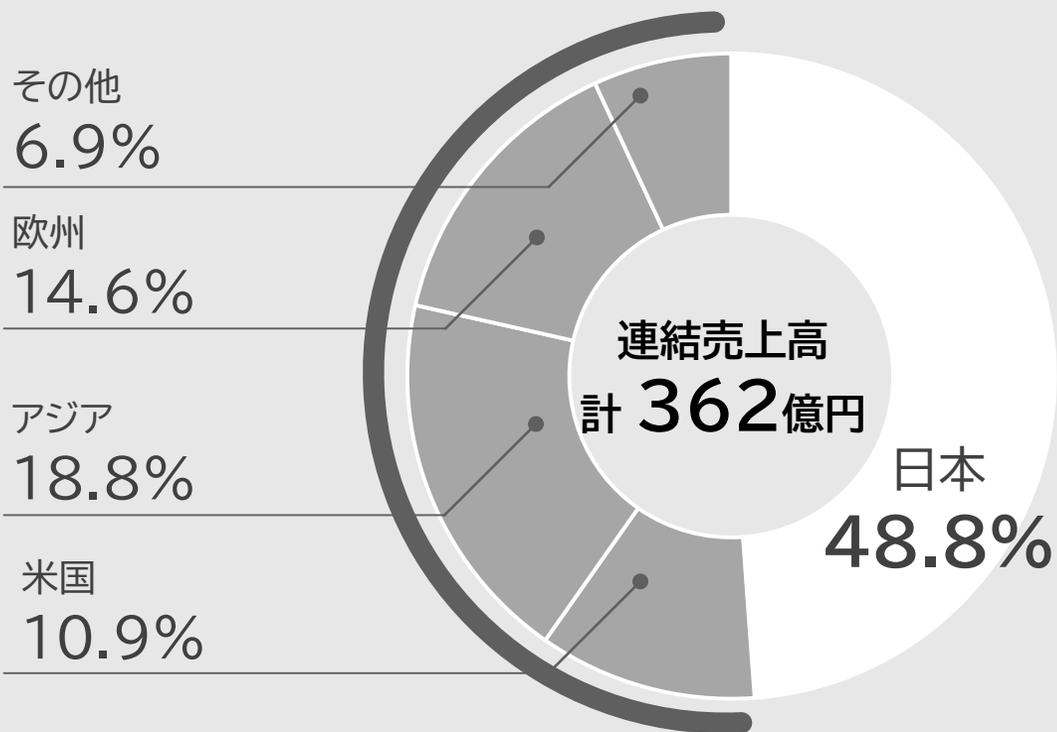
連結売上高



連結売上高 地域別構成比

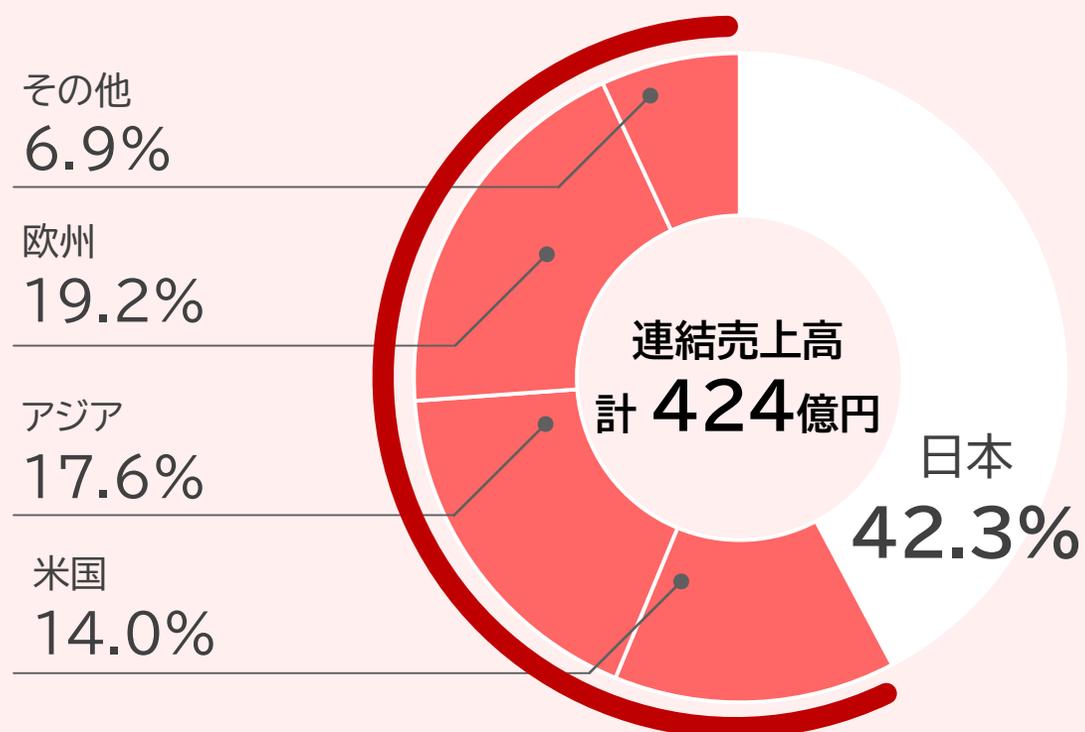
◆ 欧米を中心とした海外市場での売上高が増加し、Q2での海外比率は57.7%まで上昇

2023年 Q2



海外 51.2% 国内 48.8%

2024年 Q2

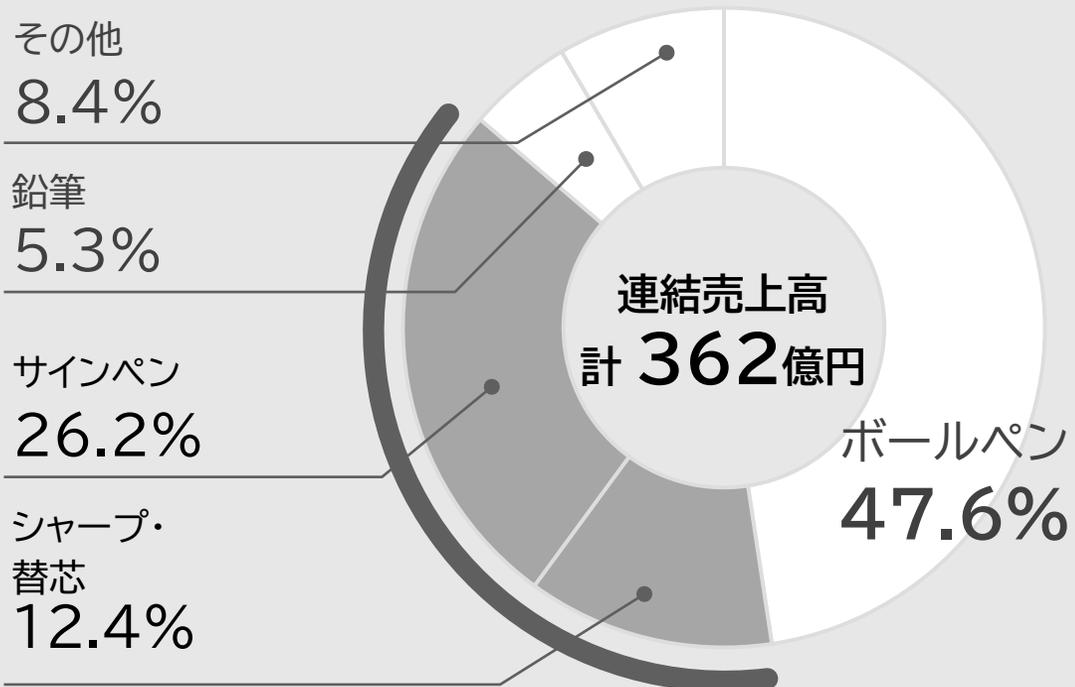


海外 57.7% 国内 42.3%

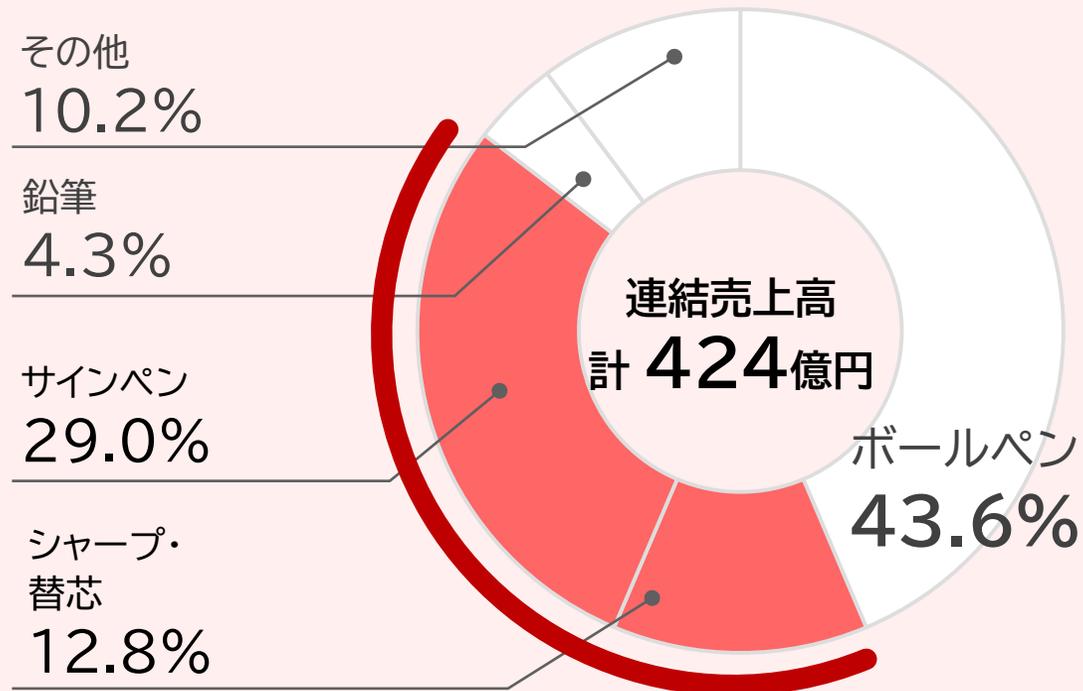
連結売上高 製品別構成比

- ◆ 国内ではシャープや多機能ペン、海外ではサインペンによる市場開拓が売上高を牽引

2023年 Q2

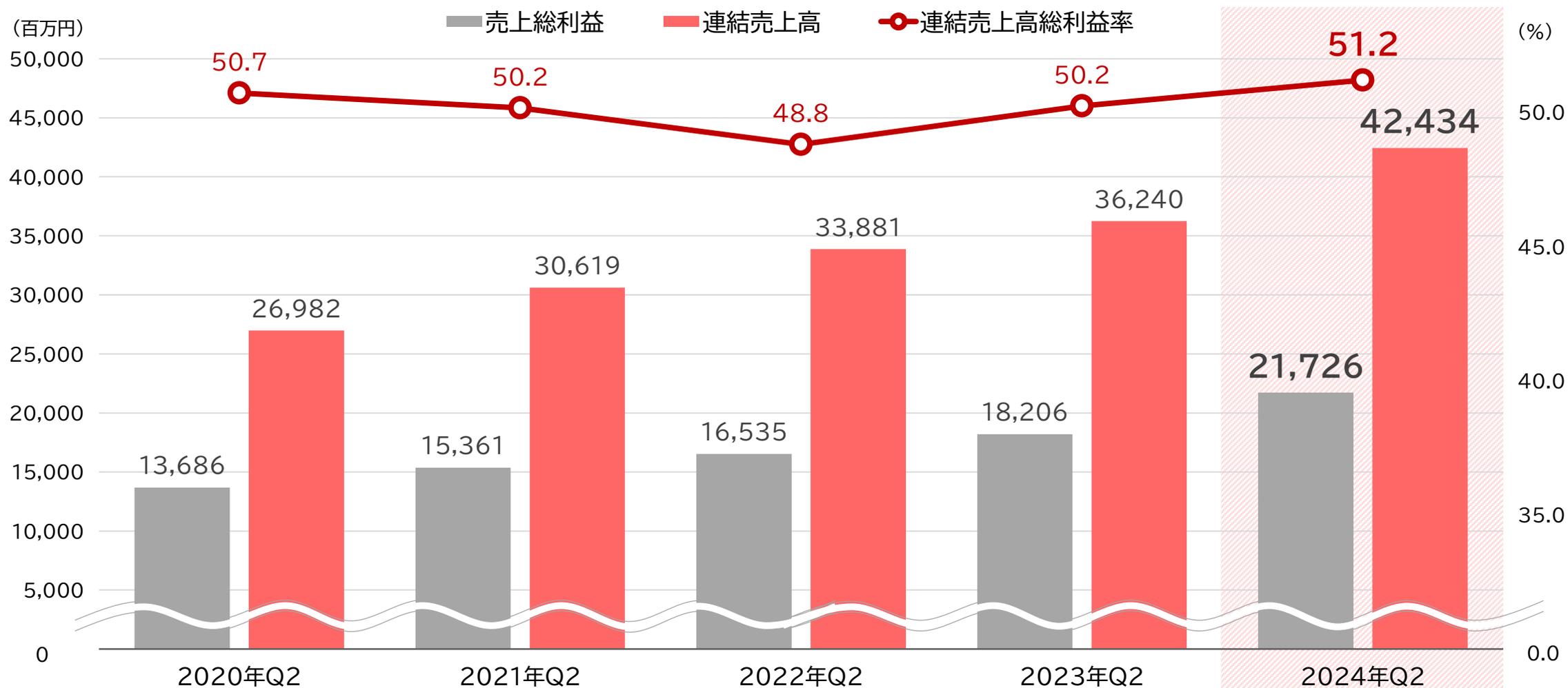


2024年 Q2



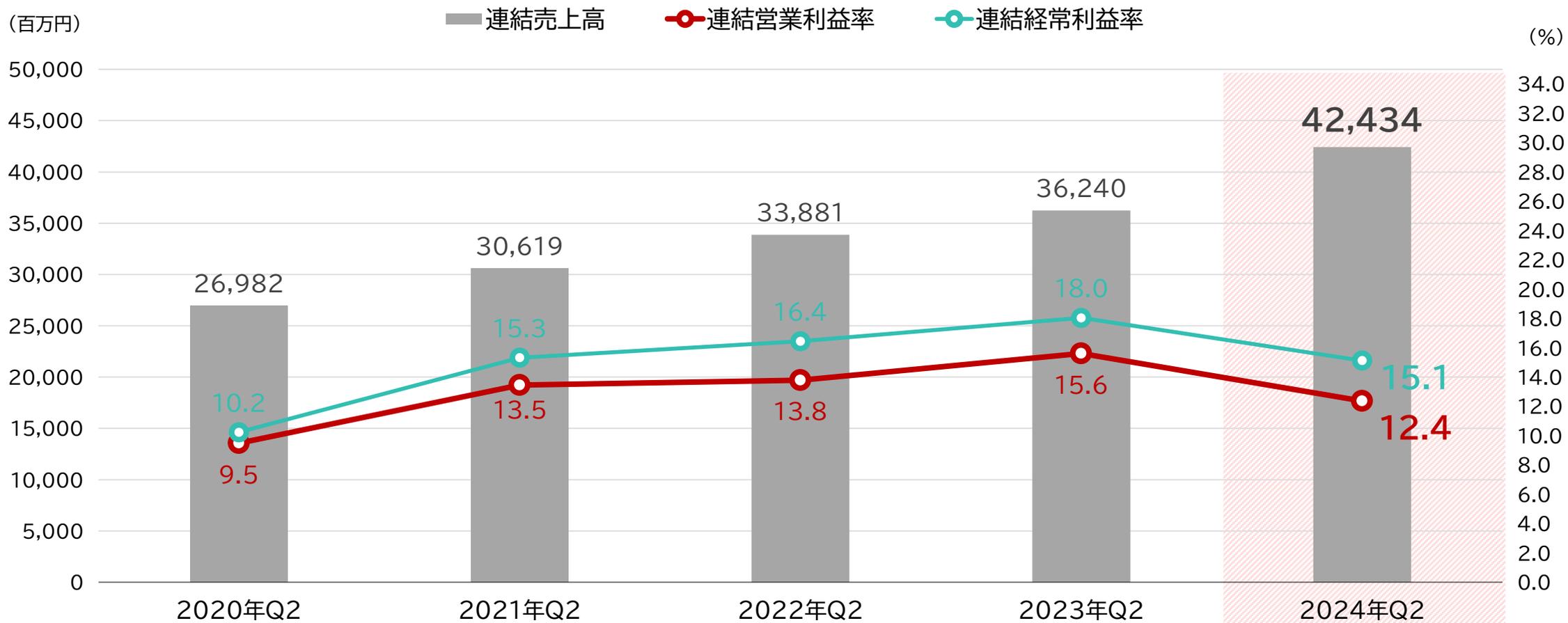
連結売上高総利益率

◆ 販売差益の増加に伴い、総利益率が上昇



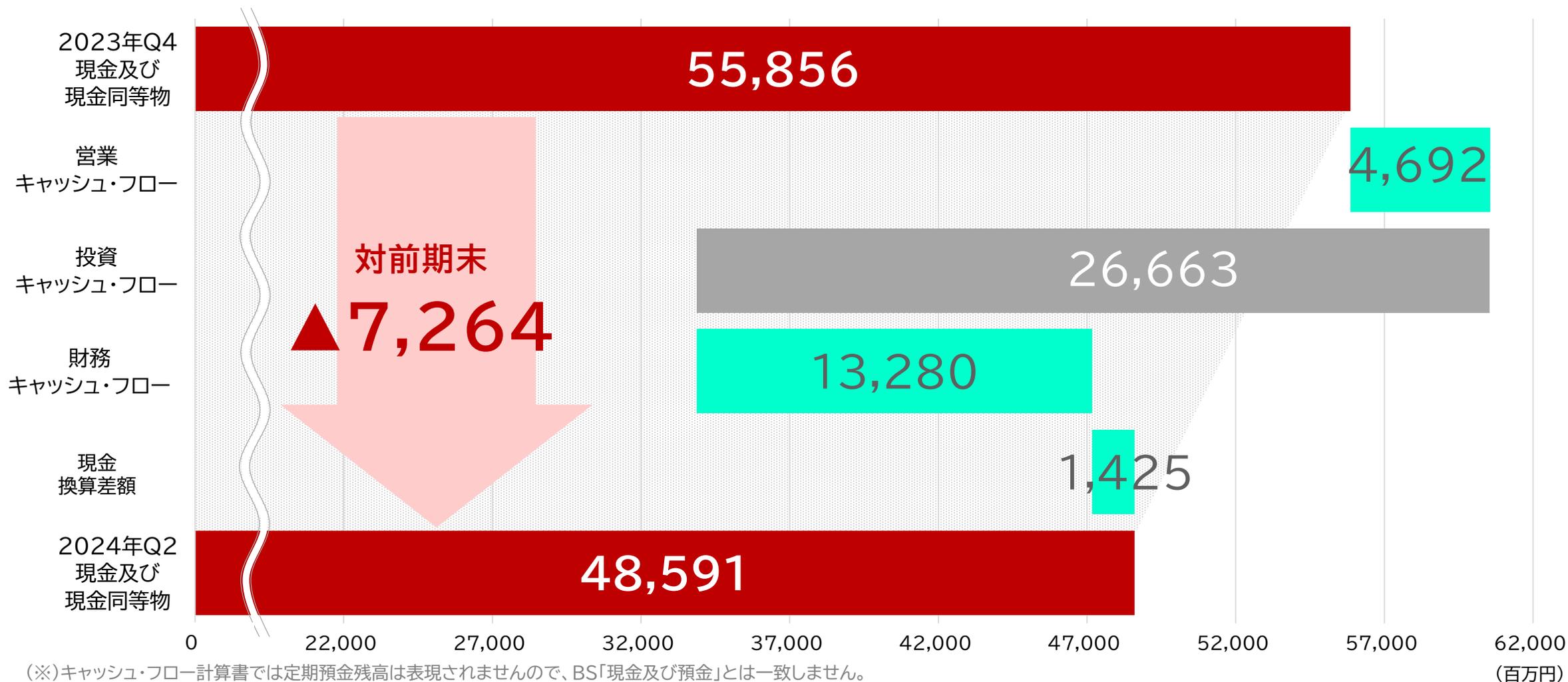
連結売上高営業利益率・経常利益率

◆ 売上高や総利益は増加するも、Lamy社持分取得関連一時費用等により営業利益率・経常利益率は低下



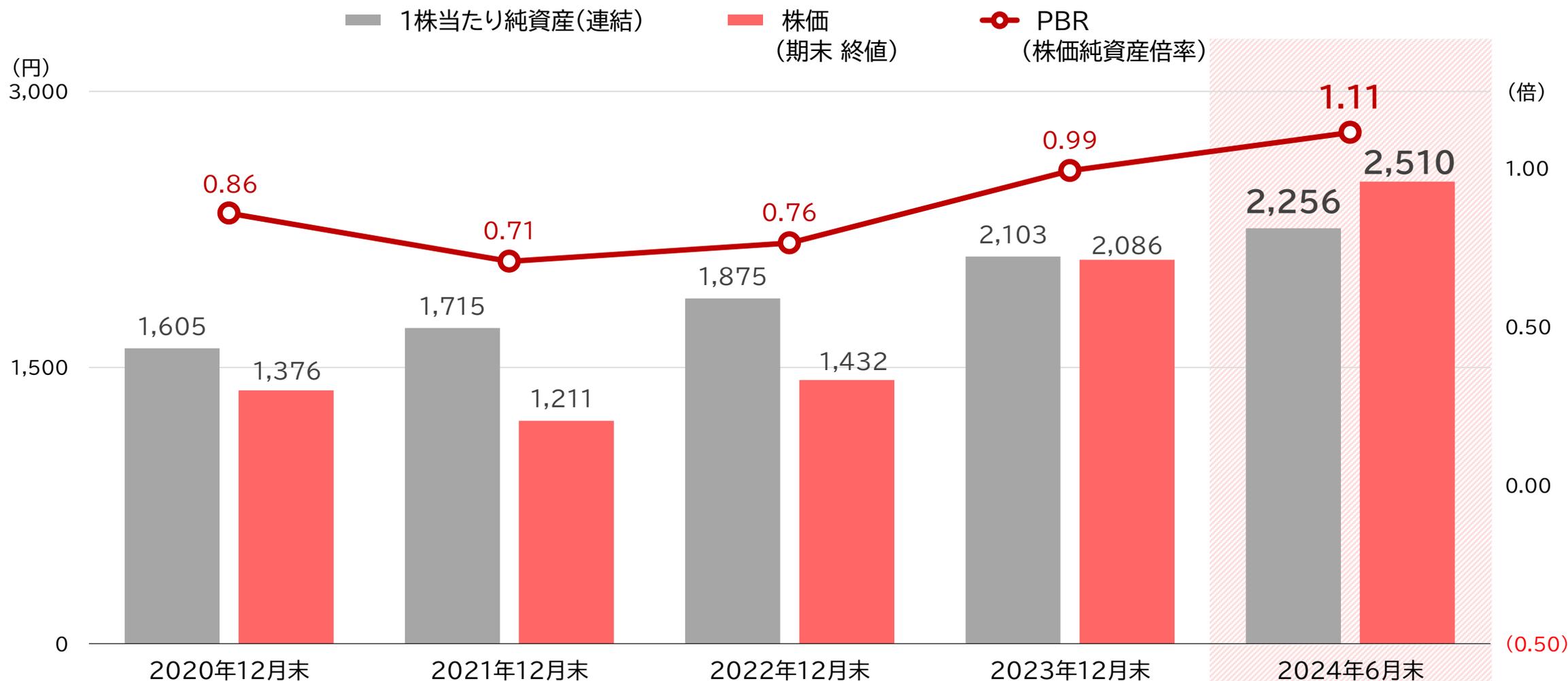
連結キャッシュ・フロー

◆ 投資によりフリーキャッシュフローはマイナス



1株当たり純資産 / 株価純資産倍率

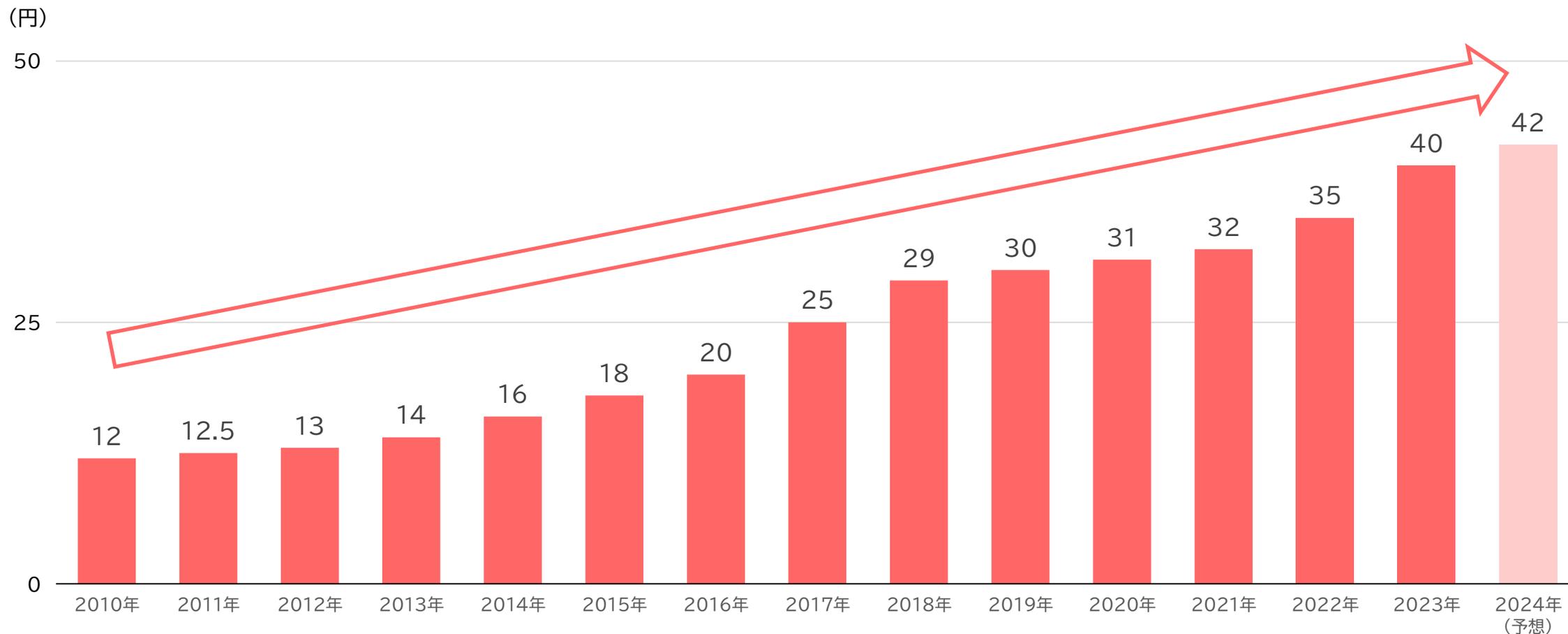
◆ PBRが1倍を超え1.11倍へ、引き続き1倍以上を目指して活動を継続



(※)PBR(株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ 連結1株当たり純資産

配当金

- ◆ 配当は15期連続増配を予定
- ◆ 2023年12月期より特別配当を10年間継続予定



(※) 2017年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を実施したため、2010年の期首に株式分割が行われたと仮定して算定

違いが、美しい。

uni
MITSUBISHI PENCIL

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想となります。
従って、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。